

会報 第21号

Beyond the Horizon



発行：宮古市国際交流協会（宮古市役所企画課内）
宮古市宮町一丁目1番30号
Tel: 0193-77-5021 Fax: 0193-63-9114

Homepage: www.miyako-kokusai.com
Facebook: www.facebook.com/miyako.international
多文化共生ラジオ：毎週水曜日午後6時半～

にほんご スピーチコンテスト

宮古市に住む外国人を対象にした、「第6回 にほんごスピーチコンテスト」を3月3日に開催しました。

スピーチをしました。

アメリカ人のゴードンさんと、ベトナム人のメンさんが出場しました。大勢の視聴者を前に、日本語教室での学習や、日々の生活を通して学んだ日本語を披露しました。

メンさんは、「私のことを伝えます」をテーマに選び、日本に来てから職場で経験したことなどを話しました。

「ちいかわ」愛とユーモアがあふれるゴードンさんのスピーチは、視聴者の皆さんを笑顔にしています。

①宮古、岩手のここがおもしろい

また、職場での辛いことも含めた様々な経験を糧にしながら、母国で暮らす家族のために、日本で強く生きていこうとするメンさんのスピーチは感動的でした。

②私のことを伝えま

す

③これ、国に持って

「これ、国に持って帰りたい」をテーマに選び、とてもはまっているという日本のアニメ「ちいかわ」について話しました。

の3つのテーマから好きなものをひとつ選んで、日本語でス

ピーチの様子は、



宮古市国際交流協会
のYouTubeチャンネルで
ご覧いただけます。

みやこ 宮古に暮らす

だい かい
第5回



にほんご ひょうき
やさしい日本語で表記します

みやこ す がいこく しゅっしん ひと はなし
宮古に住んでいる外国出身の人の話です。

しゅっしん
アメリカのハワイ出身の、ゴードン・チャン
しょうかい
さんを紹介します。

みやこ す はじ とき いんしょう
Q: 宮古に住み始めた時、どんな印象を
もちましたか？

みやこ く まえ もりおか いちねんかん
A: 宮古に来る前は、盛岡に一年間
住んでいました。

もりおか ちい まち おも みやこ いなか さいしょ
盛岡は小さい街だと思っていましたが、宮古はもっと田舎で、最初はびっくり
しました。

みどり うみ
でも、緑がたくさんあるし、海もきれい。

よる どうぶつ おどろ
夜になると、動物がいっぱい出てくることにも驚きました。

がっこう しごと
Q: ゴードンさんは、学校で仕事をしていますね。

にほん がっこう がっこう ちが
日本の学校とアメリカの学校で、違いはありますか？

A: ハワイでは、5才から10才までが小学校、11才から13才までが中学校、14才
から17才までが高校です。

にほん くら しょうがっこう はい はや こうこう ねんかん かよ
日本と比べると、小学校に入るのが早く、高校には4年間通います。

がっこう しんがっき がつ はじ
また、学校にもよりますが、新学期は9月から始まります。

がつごろ お なつやす げつ
6月頃に終わるので、夏休みは2か月ぐらいあります。

なが
長いですね。

にほん いちばん ちが ちょうき きゅうかちゅう しゅくだい
日本との一番の違いは、長期休暇中の宿題がないことです。

やす ひ なに す
Q: 休みの日には、何をして過ごしていますか？

は ひ くるま ばしょ しゃしん
A: 晴れの日には、車でドライブして、きれいな場所で写真を撮ります。

くも ひ じぶん はたけ くさど
曇りの日は、自分の畑の草取りをします。

あめ ひ いえ つく す
雨の日には、家でガンプラ(ガンダムのプラモデル)を作るのが好きです。

みやこ
Q: これから宮古でやってみたいことはありますか？

はやちねさん のぼ
A: 早池峰山に登ってみたいです。

にいさと もいち かわい たんさく
あとは、新里、茂市、川井エリアを探索してみたいです。



日本語教室でのゴードンさん（右手前）

にほんご広場

ごみの出し方研修

4月22日に、市内在住の外国人市民を対象に、「ごみの出し方研修」を行いました。

「ごみの出し方研修」を行いました。外国人と日本人の市民、合わせて約15名が参加しました。

宮古市きれいなまち推進室の職員の方にお越しいただき、ごみの出し方



最後に、参加した外国人市民に、それぞれの出身国のごみの出し方や分別方法について話していただき、日本との違いを教えてくださいました。外国人市民が日本で生活をする上で避けて通ることのできない、ごみの出し方と分別方法を学ぶ研修会を行っています。今回は、4月から宮古市に住み始めたばかりの外国人市民もいましたので、楽しみながら学んでいただく、良い機会になりました。

外国客船 春の寄港ラッシュ

今年4月から10月までの間に、外国客船が宮古港に8回寄港します。そのうちの4隻が、4月から6月の間に相次いで寄港しました。

4月15日には、ラグジュアリーな客船、**セブンス・エクスプローラー**が初寄港し、今年の宮古港の客船寄港のスタートを切りました。

市内外の通訳スタッフの皆さんにご協力いただき、市内各所で通訳対応に当たりました。

4月29日には、今年宮古港に寄港する外国客船の中で最大の、**ロイヤル・プリンセス**が入港しました。

宮古市内の高校生、宮古短大の学



皆さんの尽力のおかげで、乗り切ることができました。

夕方の出港時には、大勢の方が藤原埠頭に見送りに集まりました。黄昏時の薄明の中、メロディ汽笛を奏でながら港を離れるロイヤル・プリンセスの姿は幻想的でした。

5月4日には、優美な客船 **シルバー・ミュージック**が、昨年に引き続き2度目の寄港を果たしました。

入港セレモニーの際に市から船に贈られた、船の名前が書かれた大漁旗



にクラシユ船長はとても感激し、「出港の時は船の上にこの旗を掲げますよ」と言っていました。

その言葉どおり、出港時には、宮古市から贈ら



れた大漁旗を風にはためかせながら、次の寄港地へ向けて船出していきました。

6月23日には、ドイツの客船 **ハンセアティック・スピリット**が寄港しました。昨年寄港した、ハンセアティック・ネイチャーの姉妹船です。

初寄港セレモニーでスピーチしたフィッシャー船長は、来年はさらにもう一つの姉妹船、ハンセアティック・インスピレーションが宮古港に寄港すると明らかにしてくれました。

インターネットでは、宮古市の客船受入に対する街と市民の熱意を称賛する声が見られます。

シルバー・ミュージックで宮古を訪れた外国人の乗客は、出港の際に船上から撮影した動画をYouTubeにアップし、次のように書いています。

「宮古市は2011年の津波で甚大な被害を受け、港の壁が破壊され、差し迫った死と破壊を示すニュースメディアの映像が大きく取り上げられました。あれから時が経ち、津波に襲われた場所を訪問して印象に残ったのは、人々の温かさで真の親しみやすさでした。（中略）子供たちは英語を練習していました。自分たちの街を売り込み歓迎しようとする温かさで熱意が圧倒的でした。これまで訪れたどこでも、これを見たことはありません。（中略）私たちが出発し始めてからわずか30分後、も彼らはまだ岸壁にいて、

市民の皆さんのおもてなしの気持ち、乗船しているお客様にも確実に伝わり、宮古港への外国客船の寄港の増加につながっているようです。

音楽を奏でながら私たちに大声で叫んでいました。私が今まで会った中で、最もフレンドリーで歓迎的な人々でした」。



シルバー・ミュージックの出港を見送る大勢の市民のみなさん